

事務事業名		民生児童委員推薦会事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																									
	施策名	07 ともに支え合う地域づくりの推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)																									
	基本事業名	03 相互扶助の啓発と普及		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		民生委員法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 01 01 06																									
所 属	部課名	生活福祉部地域福祉課		事務事業区分																									
	課長名	佐々木 毅		A 政策事業 B 施設整備																									
	係 名	福祉推進係	電話 27-3111	C 施設管理 D 補助金等																									
	担当者	西村 祐美	内線 182	E 一般(1～4以外)																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・民生委員の一斉改選や欠員が生じた場合、民生委員候補者を県知事に推薦するために民生委員推薦会を開催する。 ・事業費の内訳は報酬、費用弁償であり、民生委員推薦会が開催する度に支払う。 ・平成30年度は欠員2名分の推薦を行った。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計 (B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
① 手段(主な活動)			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 大船渡市民生委員推薦会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>			名称	単位	ア 大船渡市民生委員推薦会開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位												
ア 大船渡市民生委員推薦会開催回数	回												
イ													
ウ													
前年度実績(前年度に行った主な活動)													
大船渡市民生委員推薦会の開催													
今年度計画(今年度に計画している主な活動)													
大船渡市民生委員推薦会の開催													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)										
民生委員・児童委員			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 民生委員・児童委員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>			名称	単位	カ 民生委員・児童委員	人	キ		ク	
名称	単位												
カ 民生委員・児童委員	人												
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)										
知事が定める定数に従い民生委員を配置できるようにする。			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 定数における民生委員配置割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>			名称	単位	サ 定数における民生委員配置割合	%	シ		ス	
名称	単位												
サ 定数における民生委員配置割合	%												
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)													
協力して福祉活動に取り組む。													

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	20	20	20	20	20	20
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	29	29	23	73	95
	事業費計 (A)		千 円	20	49	49	43	93	115	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	20	100	20	20	100	20	
		人件費計 (B)	千 円	80	400	80	80	400	80	
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	100	449	129	123	493	195	
⑤活動指標			ア	回	0	1	1	1	1	1
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	114	118	118	118	118	118
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	%	100	96.6	96.6	96.6	100	100
			シ							
			ス							

事務事業ID	0163	事務事業名	民生児童委員推薦会事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和23年の民生委員法制定に伴い開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成19年12月1日に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ民生委員・児童委員が111名から114名へ3名増員となった。さらに、平成28年12月1日の一斉改選により、定員が114名から4名増員され、118名となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	民生委員を推薦し定数を保つことにより、各委員が担当地域について積極的に活動でき、地域福祉の充実につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	民生委員法において、民生委員推薦会を市町村に設置することが定められているため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	民生委員法において民生委員の人数が定められているため、拡大・縮小の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	当事業により民生委員の人数が定数に保たれており、これ以上は推薦の必要がないため成果向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	民生委員法により、民生委員・児童委員の推薦は民生委員推薦会が行うことと定められているため、事業を廃止すると民生委員・児童委員に欠員が生じた場合、後任委員の選出が不可能となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	委員の報酬や費用弁償を削減するのは難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	職員数は現状で最小限に抑えているので削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	受益者負担は無い。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- ① 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止



(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

現状通り民生児童委員推薦会を実施する。

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- ① 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

現状どおり継続していく。